



平成31年度 当初予算教育費主要事業

中学校エアコン整備事業

学校生活における生徒の健康の保持増進を図るとともに、快適に学べる室内環境を確保し、学習意欲や集中力の向上を図るため、すべての中学校の普通教室と一部特別教室にエアコンを設置する。
【134,974千円】

(新)教育用ICT環境整備事業 (児童生徒用パソコン・タブレット整備)

教育用タブレットの新規整備や各学校に設置している児童生徒用パソコンの更新を行い、プログラミング教育などの情報活用能力の育成を図る。
【25,555千円】

(新)学力向上対策事業

教育力向上のため、教職員の研修のための経費等を計上する。また、生徒の基本的読解力を測定し、適切な読解指導を行うためリーディングスキルテストを行う。
【464千円】

(拡)フツ化物洗口実施事業

虫歯予防に効果が認められているフツ化物でうがい(洗口)をすることで、児童の虫歯発生率の低下を目指す。※小学校については継続事業、中学校については新規事業
【1,486千円】

(新)安心院地域複合支所盆地ギャラリー展示事業

安心院地域複合支所内の盆地ギャラリーに安心院地域の文化財の展示及び郷土資料を主体とした本の配架を行うことで、資料館的に活用してもらうことができ、調べ学習もできるよう整備する。
【22,651千円】

史跡宇佐神宮境内保存事業

全国八幡社の総本宮である宇佐神宮の歴史的景観の保全のため、国指定史跡である境内の建造物の保存修理等を行う。今年度は、菱形池のしゅんせつを行う。
【3,114千円】

宇佐海軍航空隊跡保存整備事業

戦争の歴史を後世に伝えるため、「第2次宇佐海軍航空隊い後保存整備計画」に基づき、遺構群の保存整備を行う。(爆弾池ほか2か所)
【71,857千円】

(新)市民図書館IC化事業

図書館資料のすべてにICタグを貼付し、貸出・返却業務のセルフ化を行うことで、業務の効率化及び利用者の利便性の向上等を図る。
【44,957千円】

給食&食育フェスタ事業

学校給食に関わる体験や学びの機会を通じて、食育の推進や豊かな食材を最大限に活用した地産地消の推進を図る。
【352千円】

学校の働き方改革始めます！

このほど、文部科学省から学校関係者や保護者・地域の方々など社会全体に向けて、「学校の働き方改革」の趣旨・目的等を広く知っていただくための公式プロモーション動画が制作・公開されましたので、お知らせします。(約17分)

関係団体、企業、保護者や地域の方々のご理解とご支援賜りたいこと及び、社会全体で子どもたちの学びを支えていきたいことを呼びかける内容です。

下記のアドレスやQRコードからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

(<https://youtu.be/yjpehOeIPxE>)



総合教育会議

平成31年2月1日(金)に市役所第2応接室で市長及び教育委員が出席し、総合教育会議が行われました。今回は、平成31年度教育委員会の基本方針等について協議・調整を行いました。

その他の内容としては、子どもの安全対策、ICT教育環境の整備等について意見交換を行いました。



「民権運動のパイオニア 大井憲太郎」出版記念講演会を開催しました



平成31年2月11日(月・祝)に宇佐市民図書館視聴覚ホールにて、宇佐学漫画シリーズ(7)「民権運動のパイオニア 大井憲太郎」の出版を記念して講演会及びフォーラムを開催しました。

テレビ番組などで活躍中の歴史作家・河合 敦(かわい あつし)さんを講師に迎え、大井憲太郎の生涯と功績

について、わかりやすく解説していただきました。

続いて、マンガ本編集員の3名と河合先生、是永市長による「大井憲太郎とふるさと」と題したフォーラムも行われました。

現在、マンガ本「民権運動のパイオニア 大井憲太郎」は宇佐市民図書館にて定価800円(税込)で販売中です。この機会に郷土の偉人について学んでみませんか。



宇佐市民図書館
TEL 33-4600

教育長室より

本号には、当初予算教育費主要事業を掲載しています。今回はその中の一つ、「学力向上対策事業」、とくに「リーディングスキルテスト」(RSTと略します。)に関して、市教委で考えている取組について説明します。

今、『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』がベストセラーになっています。内容は、国の機関の研究者である著者の新井紀子教授が、子どもたちの多くが実は教科書や新聞が読めていないと主張している、というものです。私自身も、教科書検定の仕事に長く携わった経験から、このことを大きな問題提起と捉えています。

元々、新井教授を中心とした研究チームは、人工知能(AI)の「東ロボくん」を東大に合格させることを目標に研究していました。RSTは、そこから生まれた「基本的な読む力を測るためのテスト」で、主に中・高校生以上を対象に、短い文や図表を読ませた上で2～4択の問題に答えることで、どのくらい問いが理解できているかを診断するというものです。

今年度、本市においてRSTに取り組む目的は3点あります。
①学力向上。新しい学習指導要領をはじめとして、今の文部科学省が示す各種方針では読む力の定着が重視されていま

す。また、生徒の読む力が思ったより低いと気づくことで、一人一人の教員には、教え方の良い変化が期待できます。「よく読んで！」という声かけに加えて、何が必要か先生方の考える機会になるものと考えます。

②高校との連携。著者の分析によれば、有名私立中高一貫校の生徒は、入学時点で身に付いている読む力がとても高く、そのために大学に進学できていると言えるそうです。とすれば、市内で義務教育段階から高校まで、この考えで一貫して取り組むことができれば、効果がありそうです。幸いなことに宇佐高校にご理解いただいています。

③子どもの進路保障。読む力が求められるのは、進学だけではありません。資格の取得や、生活のために新聞やインターネット等から情報を入手する場合も同様です。

以上のような目的のため、先行自治体の知見も得ながら、本市の一部の学校・クラスが推進校としてRSTを受け、その気付きを市内の教員、生徒に広げることで、基本的な読む力の向上を図っていきたく考えています。



『AI vs.教科書が読めない子どもたち』
新井紀子 東洋経済新報社2018



ALTの先生を紹介します

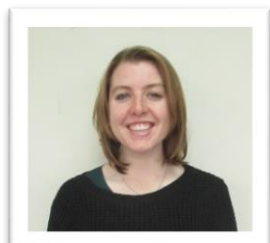
オーストラリア出身

- ①好きな日本食 ②好きな言葉
③行ってみたい場所又は再び訪れたい場所 ④宇佐市の印象



ジャスティン先生

- ①からあげ
②帰り
「帰」の字のカタチが好き。
意味も。
③宮城蔵王キツネ村
キツネが好きだから
④みんなはやさし、きれいな
けしきとすずかな町(原文)



キャサリン先生

- ①さしみ(特にマグロ)
②「ときどき」
聞こえがおもしろいから
③秋田市
高校生の時に3か月間、
ホームステイしたことがある
から
④みなさんがやさしくてうれ
い良かったです(原文)

平成31年度 宇佐市教育行政方針



第二次宇佐市総合計画前期基本計画の第5章「個性豊かな人材と文化を育むまち」の趣旨を踏まえ、『大人が学び、子どもたちが学ぶ教育の郷』を目指し、平成27年度から10年先を見通した本市の教育行政の方向や施策を示すため策定した「宇佐市教育振興基本計画」が「宇佐市教育行政の大綱」に承認されています。宇佐市教育委員会では、この「教育大綱」に沿って、生涯にわたって共に学びあえる学習機会の充実に向け取り組んでおります。

「宇佐市教育行政方針」は、この基本計画に沿って、当該年度に取り組む施策を体系化するとともに、具体的事業内容を明示するなど、教育行政の方向を示しております。

人間ロケット弾「桜花」

-その真実-

講演会

- 「桜花」設計者・三木忠直の願い
棚沢直子(東洋大学名誉教授、三木忠直次女)
- 「桜花」と神雷部隊
—米軍ガンカメラ映像から—
藤原耕(豊の国宇佐市塾塾生)

2019年5月12日⑨ 13:30~(開場13:00)
宇佐文化会館・ウサノピア 小ホール
TEL0978-33-3100

入場無料
事前申込不要

人間爆弾「桜花」と 神雷部隊の若者たち

企画展示

2019年4月26日⑨~6月9日⑨
10時~18時(日曜:~17時、金曜:~19時)
休館日 4/29、5/7・8・13・20・27・30、6/3

宇佐市民図書館 2F渡網記念ギャラリー
TEL0978-33-4600

- ・「桜花」および設計者・三木忠直に関連する資料や写真
- ・神雷部隊隊員の遺品などを紹介

観覧無料